

防災教育実施計画

足利市立桜小学校

- めあて (1)地域を襲った災害である「カスリーン台風」について、被害の実態と復興に向けて協力した地域の方の苦労と努力を知る。
(2)災害に対して、「自分でできること」を考えることをとおして、防災に対する意識を高める。

2 内容等

☆テーマ「地域防災を考える」 ～カスリーン台風から学ぶ～

○ 6年防災教育 教育課程上の扱い（総合的な学習の時間 3時間）

3 単元計画

時	日 時 等	主 な 学 習 内 容
1	9 / 4 (月)	○自然災害についての具体的な事例をもとに、その恐ろしさや被害を受けた人々の苦しみや苦労、復興に向けての努力等を知ることとおして、防災への関心をもつ。
2	9 / 6 (水)	○地域の方から、カスリーン台風の被害状況と住民の対応及び思い等について講話を聞く。(講師：徳蔵寺住職 源田晃澄様)
	9 / 6 (水) 2校時休み or 昼休み その他	○慰霊碑を見学する。
3 本時	9 / 8 (金)	○カスリーン台風に関する資料を読み、当時の様子を確認するとともに、災害とどう向き合っていたらよいかを様々な立場から考える。(自分自身ができること、家族ができること、学校ができること、学校ができること、地域ができること、役所ができること等)
事後活動	9 / 15 (金)	○話し合ったことを発信する。 ・児童に向けて、お昼の放送時に6年代表児童が校内放送で発信する。
	9 / 16 (土)	・運動会で来校している保護者、地域の方に向けて、昼食休憩時に発信する。

◎展開略案例

主 な 学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点	資 料
1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">カスリーン台風災害の教訓から、自分たちができる防災について考えよう。</div>	3	・源田晃澄さんの講話を想起させ、自分たちの地域で洪水により多くの尊い命が失われた災害があった事実を再確認させる。 ・災害は、いつ、どのように自分たちの生命や生活を脅かすか分からないことを押さえる。	めあて
2 カスリーン台風による災害の状況について、話を聞く。	15	・資料「こうずいの夜」の読み聞かせを教師が行う。	資料「こうずいの夜」
3 感想を発表する。	7	・できるだけ多くの児童に発表させる。 ・災害の悲惨さだけでなく、災害後に復興に向けて根気強く取り組んだ多くの人々の努力についても教師が補足する。	
4 災害に備えて、自分たちができることについて話し合う。 ・グループ活動	10	・様々な立場を例示し、それぞれの立場でできることを具体的に考えさせる。 (自分自身、家族、学校、地域、役所等)	ホワイトボード
5 話し合ったことを発表する。	7	・全グループに発表させる。	
6 本時の振り返りをし、学習のまとめをする。 ・源田さんの活動について ・防災への自己の意識確認	3	・カスリーン台風災害を語り継ぎ、失われた尊い命を今も慰霊している地域の方の思いについて触れ、防災と生命の尊さについて意識を高める。	